急ぎ過ぎだよ　人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す　（ITより逢いてェ）

雑報 縄文

いろんな考えがあるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No.698
2025年3月（冬刊）

編集・発行　鈴木厚正
〒266-0005 千葉市緑区誉田（ほんだ）町2-21-359
T&F 043-291-2917

も・く・じ

- 日本を目指す人の流れ・留学生　2ページ
- 「スピノザの診察室」ほか　5
- お便りから　9
- 飯田線で湯谷温泉　22
- 東京地裁傍聴記②　26
- け・い・じ・ばん　〃

泉ゆきを『心はいつも山頭火』
（日本習字普及協会）

トランプ
習近平 ―― プーチン

トライアングルには
ヨーロッパ、カナダ
インドなどと結束して
立ち向かうべき
ではないか。

メール配信をご希望の方は、
<suzukikosei.san@gmail.com>へ。
三宅伊都子さんが
応対してくださいます。

題字：故 佐村隆英和尚（元千葉県長柄町本光寺住職）
カット：故 泉ゆきをさん（にっぽん箱絵の会会長）

印刷機　リソグラフ RZ 330　　※この号の切手は おいしいにっぽん。

2月9日(日)、晴。8時の朝食後、正士さんちへ。

いつも寝泊まりする囲炉裏の間で面会。へやには、1升瓶、四合瓶が林立している。久米さん竹中さんが手伝って整理した梅ジュースの名残りだという。これでも8割方処分(貰ってもらった)したという。この期に及んでこの几帳面さにおどろく。

直近の状況については前号26ページに記したが、お母さんはめぐちゃん(看護師)の務める病院に入り、茶園は「元気里山」のグループが引き受けることになったそうだ。あとは、できるだけ永く正士さんに生きていて欲しい。

袋井の「富一」でうなぎを食べ、掛川駅まで送ってもらう。残金180円は雑報会計へ。山崎さんありがとう。車で案内してくれた若林さん、そして久米さん竹中さん、お世話になりました。